

男女共同参画推進・若手研究者育成委員会企画 ランチョンワークショップ
「学位取得後のキャリア形成を考える―博士号教員」

日時：6月15日(木) 大会3日目 11時50分～12時40分

会場：B会場(2F橋)

演者：肥田宗友(秋田県立大館鳳鳴高等学校, 博士教員教育研究会)

司会：藤ノ木政勝(獨協医科大学)

〈企画意図〉

大学院に在籍していると博士号を取る事はゴールのように思いますが、キャリア形成を考えるとむしろスタートであり、また通過点と言えます。そして、学位取得したのちにどう活動してキャリアを形成していくかが大事であり、自分の学位取得後の姿を早くから考える事は必要であると思います。本ワークショップでは定期的に博士号取得後のキャリア形成について考えてきました。本大会で取り上げる「博士号教員」は第63回大会でも取り上げましたが、まだ広く知られていません。また以前に取り上げた時から6年ほど経ち、その間に広範な取り組みも行われています。今回秋田県で博士号教員として活動されている肥田宗友さんをお迎えし、博士号教員の紹介と共にこれまでの活動内容についてご紹介していただきます。

博士号取得後の選択肢として研究を主眼においたキャリア形成(例えばポスドクや研究補助員、大学や企業の研究職)以外にも、研究活動で培った論理的思考法や実験手技、問題解決力やプレゼン力を生かした様々なキャリア形成もあると思います。その選択肢の一つとして博士号教員もあるのではないかと思います。大学院で磨いた専門性や様々な技法などをどう生かしてキャリア形成を図っていくか、考えたいと思います。大学院生、ポスドクの人を始め多くの方々のご参加をお願いいたします。

なお、本ワークショップではお弁当を用意しておりますのでランチョンチケットは必要ありません。ただし、数量に限りがございます。また、お子様連れも歓迎いたします(お子様用のお弁当は各自ご用意ください)。

肥田先生のご所属は要旨作成時のものです。

博士教員教育研究会 (<https://akitaphd.wordpress.com/>)

男女共同参画・若手研究者育成委員会

後藤聡(委員長, 立教大学), 藤ノ木政勝(獨協医科大学), 原太一(早稲田大学), 本田郁子(東京大学), 亀高諭(名古屋大学), 中村暢宏(京都産業大学), 津久井久美子(国立感染症研究所), 大澤志津江(京都大学), 佐藤あやの(岡山大学)